

第5回（平成15年度）

損保ジャパン記念財団賞 受賞者記念講演録

著書部門

『社会福祉における資源配分の研究』

立教大学コミュニティ福祉学部 教授 坂田 周一

論文部門

「母親の虐待行動とリスクファクターの検討」

一首都圏在住で幼児をもつ母親への児童虐待調査から一

東京都精神医学総合研究所 主任技術研究員 大原 美知子

「生活保護における『母子世帯』施策の変遷－戦後補償と必要即応原則－」

東京大学大学院

国立社会保障・人口問題研究所 研究員 菊地 英明

「社会福祉と共生」

清和大学 短期大学部 専任講師 寺田 貴美代

日時 平成16年7月24日 午後2時より

場所 東洋大学 井上記念館（5号館 5B12教室）

平成17年1月

財団法人 損保ジャパン記念財団

第5回損保ジャパン記念財団賞受賞者



左から 寺田氏、坂田氏、平野理事長、大原氏、菊地氏

目 次

1. はじめに

財団法人損保ジャパン記念財団 専務理事 田中 皓 …… 1

2. 共催者挨拶

東洋大学社会学部 教授 古川 孝順 …… 2

3. 審査委員長挨拶

財団法人損保ジャパン記念財団 審査委員長 大橋 謙策 …… 3

4. 記念講演録

著書部門

『社会福祉における資源配分の研究』

立教大学コミュニティ福祉学部 教授 坂田 周一 …… 6

論文部門

「母親の虐待行動とリスクファクターの検討

— 一首都圏在住で幼児をもつ母親への児童虐待調査から—」

東京都精神医学総合研究所 主任技術研究員 大原 美知子 …… 15

「生活保護における『母子世帯』施策の変遷

— 戦後補償と必要即応原則—」

東京大学大学院

国立社会保障・人口問題研究所 研究員 菊地 英明 …… 21

「社会福祉と共生」

清和大学 短期大学部 専任講師 寺田 貴美代 …… 27

5. 第5回損保ジャパン記念財団賞贈呈式資料

(1) 祝辞 厚生労働大臣 坂口 力 …… 34

(2) 審査講評 審査委員長 大橋 謙策 …… 35

第5回損保ジャパン記念財団賞贈呈式(平成16年3月25日実施)



平野理事長



著書部門受賞者 坂田 周一氏



論文部門受賞者 大原 美知子氏



論文部門受賞者 菊地 英明氏



論文部門受賞者 寺田 貴美代氏



審査委員長 大橋 謙策氏



厚生労働省
社会・援護局課長 樋口 正昇氏



坂田氏とご家族、関係者の皆さん



大原氏とご家族(ご令嬢)、関係者の皆さん



菊地氏と関係者の皆さん



寺田氏とご家族(ご両親)、関係者の皆さん



後列左より 福山審査委員、浅野審査委員、古川審査委員、
大橋審査委員長、竹内審査委員、早川審査委員
前列左より 寺田氏、坂田氏、平野理事長、大原氏、菊地氏

1. はじめに

財団法人 損保ジャパン記念財団
専務理事 田 中 皓

本日は、猛暑の中このように多数の皆さまに、また遠方は岐阜・兵庫・新潟からもご参加いただき誠に有り難うございます。

この記念講演会は、平成11年から毎年開催し今年が第5回目となりますが、東洋大学様には共催者としてご協力賜り、また運営にあたりましても大学院のスタッフの皆さまにご協力いただき、この場をお借りし厚くお礼申し上げます。

損保ジャパン記念財団は、昭和52年に厚生大臣の許可を受けて設立以来、27年間にわたりまして大きく2つの事業を行ってまいりました。

その1つは、障害者や高齢者団体の在宅福祉活動に対する支援事業であり、もう1つが社会福祉や損害保険の学術研究に対する支援事業でございます。この研究支援事業では、社会福祉分野の優れた文献を表彰する記念財団賞をはじめ、研究会やシンポジウムの開催を通してわが国の社会福祉の向上、人材の育成に寄与できればと考えております。今後も、福祉の実践と学術の両面から可能な限りの支援を続けてまいります所存でございます。

本日の記念財団賞は「日本社会福祉学会」「日本地域福祉学会」「社会福祉系登録学会協議会」「(社)日本社会福祉教育学校連盟」に後援をいただき、審査委員は大橋謙策委員長をはじめとする、わが国の社会福祉の分野を代表される先生方に審査をお願いしております。

審査員の皆さまには約半年にわたる審査期間の間に、数十冊の文献に目を通していただき、その間3回から4回開催されます審査委員会では、休日や夜間を返上して審査にあたっていただいております。

私どもは審査会を脇で拝聴しておりますが、審査委員の皆さまの人材育成にかける強いお気持ち、あるいは大きな転換期を迎えておりますわが国の社会福祉の現状に鑑みまして、今こそ社会福祉学のレベルアップを通じて社会への貢献が必要という強い信念、または責任感といったものを直接肌で感じるわけですが、熱のこもった審査委員会はそんな雰囲気の中で開催されております。審査委員の皆さまにもこの場をお借りし、厚くお礼を申し上げる次第です。

さて、本日まで講演をいただきます坂田先生、大原先生、菊地先生、それから寺田先生におかれましては、改めて第5回損保ジャパン記念財団賞の受賞を心からお祝い申し上げます。またご多忙の中、本日の講演会のために時間をお割きいただきまして誠に有り難うございました。本日はよろしく願い申し上げます。

なお、先ほどご案内の通り、この講演会の終了後、隣校舎の見晴らしの良いスカイホールにおきまして、皆さま方とご講演いただく先生方、審査委員の先生方を交えて懇談いただく場を設けさせていただいております。せっかくの機会でございますので、是非お立ち寄りいただき、のどを潤しながら先生方とお気軽にご懇談いただければ幸いに存じます。

最後になりましたが、本日のこの講演会が、皆さまの研究や実務の面で何らかのきっかけとなり、また日頃皆さまが研究や実務に励まれる中で、本賞を目指して頑張ってみようかというようなことがございましたら、主催者としてこれに勝る喜びはございません。

本日は長時間になりますが、最後までごゆっくりとお過ごし下さいますようお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。どうも有り難うございました。

2. 共催者あいさつ

東洋大学社会学部教授
損保ジャパン記念財団賞 審査委員 古川 孝順

皆さん、こんにちは。ようこそたくさんお運びを頂きまして感謝を申し上げたいと思います。今ご紹介を頂きましたように、私は東洋大学の社会学部社会福祉学科の教員をしております古川と申します。麗々しく共催という形を取らせていただいておりますが、私どもとしましては教室を提供したと、宣伝になればなお宜しいというぐらいのつもりでいるわけですが、せっかくの機会でございますので東洋大学の宣伝もさせていただくことにしようかと思ったりしております。

東洋大学は全部で8学部を持っておりまして、この白山とそれから川越に工学部がございます。板倉に国際地域学部と生命科学部、朝霞に1、2年生を集めておりまして、この白山に文系の5学部が集中しております。来年になりますとその朝霞からこちらに学生を移して、空いたところに新しい学部として、ライフデザイン学部というものを設置をする予定にしているわけでございます。私はその設置の責任者をやっているものですから、損保ジャパン記念財団の事務局となかなか意思疎通が出来ないところがございますが、昨年からは会場の提供という形で一助になればと思ってお引き受けをしてきたところでございます。会場がもう少し広ければいいかなという気も致しますが、8分方入って満員のように見えるところがいいところという面もあるのではないかな。もう少し広いところはもちろんございますが、しばらくはこれでいいかなと思ったりしているところでございます。

先ほどご紹介頂きましたように、今日事務方ではうちの大学院の院生諸君も何人か手伝いをしておりますけれども、院生諸君にたくさん参加をして頂きたいということで授業の時に檄を飛ばしております。論文の受賞者の方は比較的若い方もおられますので、院生には君たちも今すぐとは言わない、4～5年経ったらひよっとするとチャンスがあるかもしれないから、その時のために単なるお手伝いではなしに今事務方をやれと、こういうふうに言っているわけでございます。そういう形で受賞者が継承されて、同時にこの記念賞が発展をしていくことが、我々にとって会場提供ということでございますけれども、大変うれしいことだと思っているわけでございます。

終わりましたら、お隣の建物の16階にご案内できるように準備を進めていただいたようでございますので、そこで、また外を見ながら東洋大学のイメージを少し改善して頂ければ大変ありがたいと思います。私の大学のPRはこれぐらいで終わることに致しまして、この報告会が成功裡に終わり、又来年、再来年とますます発展をしていくことを祈念しつつ、ごあいさつに代えさせて頂きたいと思っております。どうもありがとうございました。